

記入例

(日本産業規格A列4番)

様式第3号(表)(第34条関係)

① 年 月 日

稲城消防署長 殿

住 所

② 申告者 職業(職) 電話

氏 名

車両・船舶・航空機り災申告書

1	り災年月日	③ 年 月 日	り災物件と申告者との関係	④ 所有者・管理者・占有者
	り災場所	⑤ 市 丁目 番地		
⑥ 車 両	運転者氏名		購入年月	
	用途別		購入金額	
	車両番号		年 式	
	焼けた箇所	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		その他
⑦ 船 舶 ・ 航 空 機	船長・機長名		船名・機名	
	用途・機種		就航年月	
	トン数・最大離陸重量		購入金額	
	焼けた箇所	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		その他
⑧ 積 載 物	焼けた物	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		その他
	り災物件との関係	所有者・管理者氏名		
⑨ 5	火災保険契約会社名		保険金額	

車両・船舶・航空機り災申告書記入例

- ① **申告年月日**：申告書を提出する年月日を記入してください。
- ② **申告者**：申告する人の住所、職業（又は役職名）電話番号及び氏名を記入してください。
- ③ **り災年月日**：火災があった年月日を記入してください。
- ④ **り災物件と申告者との関係**：り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。
- ⑤ **り災場所**：火災があった住所を記入してください。
- ⑥ **り災した車両について下記により記入してください。**
 - (1) 「用途別」の欄には、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
 - (2) 「車両番号」の欄は、陸運局に届け出ている車両登録番号などを記入してください。
 - (3) 「年式」の欄は、自動車車検証等を確認して記入してください。
 - (4) 「焼けた箇所」の欄は、火災によって焼けた物及び熱によって炭化又は溶融した箇所を記入してください。
 - (5) 「消火のために濡れた、汚れた、壊れた箇所」の欄は、消火のために受けた水損や煙により汚れた箇所、破損した箇所を記入してください。
- ⑦ **り災した船舶・航空機について下記により記入してください。**
 - (1) 「用途・機種名」の欄は、客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などの別を記入してください。
 - (2) 「焼けた箇所」の欄は、火災によって焼けた物及び熱によって炭化又は溶融した箇所を記入してください。
 - (3) 「消火のために濡れた、汚れた、壊れた箇所」の欄は、消火のために受けた水損や煙により汚れた箇所、破損した箇所を記入してください。
- ⑧ **積載物について下記により記入してください。**
 - (1) 「焼けた箇所」の欄は、火災によって焼けた物及び熱によって炭化又は溶融した箇所を記入してください。
 - (2) 「消火のために濡れた、汚れた、壊れた箇所」の欄は、消火のために受けた水損や煙により汚れた箇所、破損した箇所を記入してください。
 - (3) 損害を受けた物の品名と損害額を記入してください。
 - (4) 申告者と積載物の所有者等が異なる場合は氏名を記入してください。
- ⑨ **火災保険**
 - (1) 車両等が加入している火災保険の契約会社を記入してください。
 - (2) 保険金額は、契約会社別に万円単位で記入してください。